

# 若い瞳

うるま市立  
平敷屋小学校  
幼稚園  
発行  
校長・園長  
高良 孝 志

## 継続は力

夏休みにいろいろな経験をしたい。子どもたちが学校に帰ってきた。

大きな事故・けがに遭うことなくみんなが元気に学校に集えたことを、本当に嬉しく思います。いろいろな体験や家族との思い出作り、スポーツ、発表会等々みんな頑張った夏休みだったでしょう。頑張ったという、

去年の夏日本中を明るくしてくれた油井亀美也氏を思い出します。この空の上約400KM上空の国際宇宙ステーションで、さまざまなミッションを行っていました。油井さんは日本人で10人目の宇宙飛行士になったわけですが、「中年の星」と言われるように、45歳という年齢で初めて宇宙に飛び立ったのです。

油井さんは、小さい頃から夜空を見つめ、中学生時代には宇宙にあこがれ、

宇宙飛行士に合格したのです。

油井さんは、「努力は継続する事が大事です。努力の結果がすぐに出ないからといってそこであきらめてはいけません。努力は見えないところで自分の将来の可能性を開き、多くの選択肢をもたらしてくれるのです」と話しています。

平敷屋小学校の子どもたちもいろんな夢を持って、その実現に向けて努力しています。

## 学校の仕組み⑤

### 【授業時数】

小学校で学習する教科及び領域には国語・算数・社会・理科・道徳等がある。

それぞれに一年間で実施される基準とされる授業時間数がある。どれも学習指導要領に定められて

いて、たとえば1年生の国語は306時間、学習する漢字は80字、6年生は175時間、漢字は181字となります。

1年生の国語の授業時間数は6年生よりも多くとられています。

ですが、日本人として最も大切なひらがなやカタカナ、初歩的な漢字指導に多くの時間がとられています。

2年生以降はそれを基礎として学習活動が行われます。また、各学年の総時数は1年生が850時間・6年生が980

## 生活リズムの早期回復を

夏休み明けのこの時期、眠そう、だるそう、覇気がないような雰囲気が多く見られる。まず、子どもたちの生活リズムの回復を家庭と連携して進めなければならない。

早寝早起きが鉄則であるが、保護者が意識しなければ就寝時間はだらだらと遅くなってしまふ。

1日、2日とそんな生活を続ければ欠席が続いてしまふ。生活リズムを立て直せば2日、3日の遅刻や欠席で済むが、対応が遅れるとずるずると不登校に発展しかねない。

全国的にも、夏休み明けから登校しぶりが例年多く見られるので、学校も子どもの状況を把握して、家庭と連携していきたい。早寝・早起きは健康のための大切なリズム。リズムを整えば子どもたちは楽しい学校生活を送れるはずである。

## 安全意識

い学校生活を送っていきましょう。

数年前、改正道路交通法が施行され、自転車通行の違反項目が新たに加わったが、二人乗りや併走、無灯火、暴走、おしゃべりをしながらの運転等、危険運転がまだ見受けられる。子どもたちには手軽な乗り物だが、一歩間違うと大事故にもつながりかねない。

学校では、秋の交通安全運動に合わせ、今年からは自転車の乗り方を中心に指導していきたい。

また、放課後は、自由な気分自転車を



を乗り回す子が多いので、保護者・地域と協力して校外指導を強化したい。事故を起こす前に、安全指導を徹底したい。

夏休み期間中に、オリンピックが開催され、日本選手団の活躍に一喜一憂したことでしょう。

## オリンピック

世界のアスリートが集うこの祭典は子どもたちに夢や希望を与えたのではないのでしょうか。目標を持ち頑張ることの大切さを感じてくれたらと思います。今月はパラリンピックが開催されます。選手達の活躍が楽しみです。来年は東京オリンピック、種目によっては現在の小学生でも参加可能ですね。